

令和7年6月24日

早田小学校保護者の皆様

岐阜市立早田小学校
校 長 平野 裕

登下校時の落雷に係る対応について（お願い）

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨日、午前中に急な雷雨がありましたが、昨年のこの時期には、下校時刻の直後に落雷が発生し、児童の安全を確保する観点から、教室にて待機する対応をとり、車で来校いただいて引き渡しによる下校を行いました。その際、既にグラウンドに出たり、学校の近くまで歩いたりしていた児童には、放送により教室へ戻るよう指示しましたが、一部の児童はすでに岐路についており、帰宅する状況となりました。このような登下校途中での落雷発生も含め、子どもたちには折に触れ、雷から命を守る方法について指導をしています。

なお、登下校時の雷等への対応につきましては下記の通りとしておりますので、改めてご理解、ご協力をお願いいたします。下記の対応につきましては、今後、実施していく中で課題等がありましたら、随時修正していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

記

1. 落雷発生の予兆

- ① 雷の音が聞こえる
- ② 真っ黒な雲に覆われる
- ③ 冷たい風が吹く
- ④ 急に強い雨が降り出す等

2. 登校時に上記「落雷発生の予兆」があると判断された場合

- ・原則として各家庭でご判断いただき、自宅で待機する。
- ・自宅待機により登校が遅れる場合は、「スマート連絡帳」に「雷による自宅待機中」とご記入いただくことにより、学校へ連絡をいただく。
- ・児童の安全が一番ですので、登校が遅れても構いません。（遅刻扱いにはなりません）
- ・学校からの「スマート連絡帳」において、対応に係る連絡をさせていただくことがありますので、着信にご留意ください。

3. 下校時に上記「落雷発生の予兆」があると判断した場合

- ・安全確保の観点から校舎内での待機となります。放課後児童クラブの児童は、校舎内を通過して教室へ移動させます。
- ・引き渡し等の対応について、学校から「スマート連絡帳」で連絡します。

4. 引き渡し等の対応について

- ・落雷の危険性がある場合、徒歩による帰宅は保護者の方と一緒にあっても危険性があるため、原則として車によるお迎えをお願いすることになります。

- ・スマート連絡帳による引き渡しのアナウンスがあるまでご自宅で待機願います。なお、事情によりお迎えに来られない、また遅くなる等の場合は、学校までご連絡をお願いします。
- ・スマート連絡帳の緊急連絡に関しては、お仕事中的場合も多いとは思いますが、ご家族の誰かが確認できるように工夫していただきますようお願いいたします。登録は複数名できます。

5. お車によるお迎えの方法について

- ・安全でスムーズなお車で出入りの流れをつくるため、下記による一方通行とします。
- ・車による校庭への入口は、学校西門（公民館駐車場入口）のみとします。
※公民館への駐車、停車もご遠慮ください。
- ・運動場西側から順に駐車願います。（白線があれば、そこに沿って体育館向きに駐車ください）
- ・職員が誘導・指示ができない場合のほうが多いと思われます。事故等にはご注意ください。
- ・児童玄関から入り、教室へお迎えをお願いします。
- ・お帰りの出口はグラウンド南側の門のみとします。安全に十分気をつけてください。

6. 保護者の皆様へのご連絡について

- ・スマート連絡帳へのアクセスが集中することにより、開けない等の場合には、早田小学校のホームページにも同様の情報を掲載しますので、そちらもご確認ください。
- ・有事の際に、回線等がすべて使えない場合も考えられます。学校の学級や学年の保護者同士でもご連絡できるとありがたいです。
- ・どうしても迎えに来られない時もあり、近所の保護者の方をお願いすることもあると思いますが、児童本人が確認出来れば、引き渡していくことを考えています。保護者同士でご確認ください。

7. その他

- ・下校の判断としては、気象庁「雷ナウキャスト」も参考にしながら対応します。
- ・雷の活動は、鳴りが止んでから20分程度は落雷の危険がある（気象庁ホームページより）ことから、その間は安全な場所で待機するようにします。
- ・児童への指導として、下校途中や帰宅後に公園等で遊んでいる場合も含めて落雷発生の予兆がある場合、具体的な方法として学校へ避難する、速やかに帰宅する、近くの110番の家等に避難することだけでなく、具体的な雷から命を守る最善の方法をとり、対応について自分で判断できるように指導をしていきます。ご家庭でも、具体的な場面を想定しながら、命を守る方法について、確認していただきますようお願いいたします。

<参考>雷から身を守る方法

- ① 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりした場合は速やかに屋内に避難する。（雷鳴が遠くても、雷雲はすぐ近づいてくる。また、雨が降っていないなくても落雷はある。）
- ② 校庭やプールでの活動、平地でのハイキング等、近くに高いものがない場所での活動の場合は特に注意し、速やかに活動を中止し、屋内に避難する。
- ③ 雷の活動は短時間でおさまることが多いので、無理に登下校、帰宅等をせず、屋内に避難・待機する。
- ④ 自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に移動する。
- ⑤ 避難場所等について

- ・建物の中、自動車、バス、列車の中等への素早い避難が求められる。
- ・軒先や外壁は、雷の通り道になること等に注意する。
- ・雷は高い場所に落ちやすい。立ち木に落ちると被害を受けるので、立ち木から離れたところに避難する。
- ・近くに避難する場所がない場合は、しゃがみこむ等できるだけ姿勢を低くする。

⑥安全な空間に避難できない場合の対応

- ・近くに安全な空間がない場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体の最上部を45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4 m以上離れたところ（保護範囲）に避難する。高い木の近くは危険なため、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2 m以上は離れること。
- ・姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにする。
- ・雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動する。

〔気象庁ホームページより〕

以上、児童の安全を守るためにご理解とご協力をお願いいたします。